

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 21日

事業所名 放課後等デイサービス はる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・利用者が多い時は狭く感じる。/体を動かす活動では、庭を活用している。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・配置基準は満たしているが、個別での対応時、全介助の子どもがいる時等には職員数が求められる。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・出入り口にスロープが設置してある。/・車椅子のままトイレへ入ることができる。/・バリアフリーになっているが、場所により車椅子で方向を変えるには狭いところがある。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	50%	0%		・トップダウンで、一方向になりやすいため、今後は支援会議の中で職員の意見を言い合える環境を作る。 ※4名無回答
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	0%	※2名無回答	第三者による外部評価を検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		・定期的に全体研修を行っている。/・資質向上のため、回数を増やしたり、障がい関連の研修に参加していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	38%	0%	※5名無回答	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	25%	13%		・支援者の主観的評価にならないように留意する。 ※5名無回答
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	50%	13%	※3名無回答	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	63%	13%		・日々、意見交換の時間を設けている。/・日ごとに変えており、天候に合わせて戸外での活動も計画している。/・意図的に固定しているものもあるが、プログラムをより広げる工夫をしていく。 ※2名無回答
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	50%	13%		・日々の活動の課題を決めている。/・タイムスケジュールの作成、共有を早期に行えると良い。 ※3名無回答
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	50%	13%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	88%	0%	・毎日、支援開始前にミーティングをし、支援の内容や役割分担について確認している。 ※1名無回答	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	38%	38%	・送迎終了後や翌日に振り返っている。/・記録に残し、皆で共有できるように工夫している。/・今後は、より綿密な話し合いができるよう、時間の確保をしていく。 ※2名無回答	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	88%	0%	・毎日の支援内容、子どもの様子等をサービス提供記録等に記録している。誰でも気付いた時にすぐに記録できるように、メモ用紙等を用意している。 ※1名無回答	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	63%	0%	・週に一度会議を行ない、利用者の変化等について話し合いをしている。 ※3名無回答	
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	25%	25%		・ガイドラインの総則を熟知し、今後は複数を組み合わせた支援を行っていききたい。 ※4名無回答
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	25%	38%		・児発管や管理者が主に会議に出席しているが、その他児童指導員も参加するようにしていきたい。 ※3名無回答
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	50%	0%	・各学校から、予定表をもらっている。/・下校時、送迎時、担任の先生から連絡を受けた時には、すぐに連絡調整をしている。 ※4名無回答	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	38%	0%	・常に整えてある。 ※5名無回答	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	38%	0%	・情報共有について書面に残してある。/・新1年生の入所にあたり、移行支援会議が開かれる。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	0%	・該当者なし。 ※8名無回答	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13%	0%	※7名無回答	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	13%	50%	・散歩に出かけた時に、地域の子どもと公園でふれ合うこと等はある。 ※3名無回答	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	0%	※8名無回答	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	63%	0%	・送迎時に行っている。/・意見交換会の企画をし、話し合いの場を設けている。 ※3名無回答	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	0%	・接遇、マナー研修を定期的に行っている。 ※4名無回答		
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	38%	0%	※5名無回答		

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	50%	0%	・送迎の際にも行っている。 ※4名無回答	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	25%	0%		・合同会を行う。/・父母の会、保護者会はないため、この機会に立ち上げられると良い。 ※6名無回答
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	38%	13%	※4名無回答	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	25%	25%	※4名無回答	
	35	個人情報に十分注意している	88%	0%	※1名無回答	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	50%	0%	※4名無回答	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	13%	13%	※6名無回答	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13%	25%		・現在進行中。保管場所の周知、不備の改善や共有、訓練の実施等を重ねる必要がある。 ※5名無回答
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	63%	0%		・年に1回は行っているが、今後は回数を増やし、訓練を種類別に行うことを検討する。 ※3名無回答
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	88%	0%	・全体研修を行っている。 ※1名無回答	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13%	13%	・現状では身体拘束は必要ない。 ※6名無回答	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	25%	13%		・現状では、食物アレルギーのある子どもはいないが、常に意識し、情報を得る努力をする。 ※5名無回答
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	63%	25%	・個人差はあるが、概ね共有できている。 ※1名無回答	